

令和元年度 教育研究業績書

氏名 正司 哲朗

最終学歴	龍谷大学大学院理工学研究科電子情報学専攻博士課程後期	
取得学位	博士（工学）	
所属学会	電子情報通信学会、情報処理学会、地理情報システム学会、教育システム情報学会、日本教育工学会、バーチャルリアリティ学会、日本モンゴル学会など	
専門分野	情報メディア、画像処理、デジタルアーカイブ、情報考古学	
研究課題	文化遺産を対象としたデジタルアーカイブに関する研究	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルアーカイブ概論(前期) ・ 文化情報論(後期) ・ 情報学(後期) ・ プログラミング言語I・II(前期・後期) ・ 情報工学(後期) ・ 演習I・II・III・IV(前期・後期)
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報処理論特殊講義(一)(三)(前期) ・ 情報処理論特殊講義(二)(四)(後期)
	大学院博士後期課程担当科目	担当なし
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報処理
【研究上の特記事項】	(1) 科学研究費補助金 基盤研究(B) 研究分担者 「内閣府世論調査の測定誤差の研究」 (2) 科学研究費補助金 基盤研究(B) 研究分担者 「初期遊牧社会における社会複雑化とユーラシア東西交易路の復元に関する包括的研究」 (3) 科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究分担者 「5～13世紀ユーラシア東方における都城と仏塔の比較史的研究と3Dアーカイブ作成」 (4) 科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽) 研究分担者 「深層学習による画像診断を利用した動物遺存体の種・部位同定に関する研究」	
【教育上の特記事項】	(1) 出席管理システムの開発と運用	
【社会的活動】	(1) 奈良県の委託委員会 (2) 南陽高等学校附属中学校のSTEAM教育取り組み支援	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流委員会、ネットワーク委員会、博物館委員会、社会学部実習室管理委員、予算委員 ・ 情報教育システムの設計と導入 ・ 全学ネットワークシステムの設計 	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文)				
①ウェブ調査の設計と大学生を対象としたスマートフォン利用実態に関する調査	共著	2020年2月	奈良大学紀要 Vol.48	ウェブ調査の問題点について考察し、スマートフォンに対応したウェブ調査を設計し、大学を対象にしたスマートフォンの利用実態について分析した。(pp.99-111)
②ウェブ調査において無効回答選択肢を含めることの影響	共著	2020年2月	奈良大学紀要 Vol.48	ウェブ調査において「わからない」という選択肢を与えることで回答にどのような影響が現れるかを検討した。(pp.47-61)
(学会発表)				
①ウイグル時代前期の瓦を対象にした三次元計測に基づく同范判定手法に関する考察	共著	2020年2月	第21回 北アジア調査研究報告会	ウイグル前期時代の地方官衙から出土した瓦当の同范判定手法を検討した。
②2019年モンゴル国オルズ川流域の考古学調査	共著	2020年2月	第21回 北アジア調査研究報告会	ウイグル前期時代の地方官衙の考古学的調査を実施し、測量をもとに中央基壇の構造を明らかにした。
③У л з г о л ы н х ө н д и й д х и й с э н а р х е о л о г и й н м а л т л а г а с у д а л г а а н ы у р ь д ч и л с а н ү р д ү н г э э с	共著	2019年12月	МОНГОЛЫН АРХЕОЛОГИ-2019	日蒙共同研究プロジェクトであるオルズ川流域の匈奴の製鉄跡、およびウイグル前期の地方官衙の考古学的調査の研究成果を報告した。
④Э Р Т Н И Й М О Н Г О Л Ч У У Д Ы Н Ү Й Л Д В Э Р Л Э Л И Й Н ТҮҮХ 2019 оны малтлага судалгаа м у р ь д ч и л с а н ү р Д ү н г з э с	共著	2019年12月	МОНГОЛЫН АРХЕОЛОГИ-2019	日蒙共同研究プロジェクトであるホステインボラク遺跡群の匈奴の製鉄跡、窯跡、青銅器時代の板石墓の考古学的調査の研究成果を報告した。
⑤モンゴル国ドルノド県シャルツ・オール1遺跡の調査	共著	2019年11月	日本中国考古学会2019年大会	ウイグル前期時代の地方官衙の考古学的調査を実施し、測量をもとに中央基壇の構造、出土瓦の形式分類を行った。

研究業績[著書、学術論文等]

<p>(学会発表)</p> <p>⑥apan-Mongol Joint field research at the Ulz River in northeastern Mongol</p> <p>⑦3Dプリンタを利用したものづくりによるSTEAM教育の試み—CG作成と3Dプリンティングを通じた学びを中心に—</p>	<p>共著</p> <p>共著</p>	<p>2019年10月</p> <p>2019年8月</p>	<p>V INTERNATIONAL CONGRESS OF MEDIEVAL ARCHAEOLOGY OF THE EURASIAN STEPPES NOMADIC EMPIRES OF EURASIA IN ARCHAEOLOGICAL AND INTERDISCIPLINARY STUDIES, DEDICATED TO THE 100TH ANNIVERSARY OF THE RUSSIAN ACADEMIC ARCHEOLOGY</p> <p>第2回STEAM教育について考える会(次世代大学教育研究会番外編)</p>	<p>ウイグル前期時代の地方官衙の考古学的調査を実施し、測量をもとに中央基壇の構造、出土瓦の形式分類を行った。</p> <p>南陽高等学校附属中学校で行われているSTEAM教育「ダヴィンチ」において、3Dプリンタを用いた実践教育を行い、STEAM教育への取り組みを報告した。</p>
<p>(その他)</p> <p>①МОНГОЛ-ЯПОНЫ ХАМТАРСАН “ЭРТНИЙ МОНГОЛЧУУ ДЫН ҮЙЛ ДВЭРЛЭЛ ИЙН ТҮҮХ” ТӨСӨЛ 2019 оны хээрийн шинжилгээний ангийн тайлан</p>	<p>共著</p>	<p>2020年2月</p>	<p>モンゴル科学アカデミー考古学研究所2019年調査報告書</p>	<p>ホステインボラク遺跡群にある18世紀の寺院都市ゾーン・フレアの物理探査結果、および周辺にある建物跡の建築部材を含めて年代測定し、関連性について考察した。さらに、オルズ川流域にあるウイグル前期の地方官衙シャルツ・オール1の発掘・測量調査の結果を報告した。(pp.55-60、pp.63-70)</p>